2026 専門科目

# 日本大学大学院商学研究科博士前期課程<br>一般入学試験（第２期）

# 専門科目

## 注　　意

1　試験開始の合図があるまで問題冊子を開かないでください。

2　試験開始の合図があったら，解答用紙に記載された専攻名などが出願内容と同じであるか確認してください。

3　この問題冊子は，全ての専攻・科目が一冊に綴じられています。出願書類に記載した専攻・科目とは異なる専攻・科目を解答しないように注意してください。

4　問題は，第１問と第２問があります。第１問と第２問の両方とも解答してください。

5　解答用紙は，第１問と第２問に分かれています。

6　解答用紙の所定欄に，**受験番号と氏名・フリガナ**を必ず記入してください。

7　解答は，解答用紙に記入してください。

8　解答時間は９０分です。

9　**問題冊子と解答用紙は必ず提出してください。**　※持ち帰らないこと。

| 専攻名 | 受験番号 | 氏名（フリガナ） |
|---|---|---|
| | | |

※試験開始の合図があるまで記入しないでください。

# 商学専攻

## 専門科目

# 商学・経営学専攻（共通）
# 第１問

問１，労働市場や金融市場などの制度やインフラが特定のセクターの競争力に大きな影響を及ぼす場合には，そのような制度が整備された国に競争力のある特定の産業が立地する。このセクター・イノベーション・システムは，①知識ベースと学習過程，②基礎技術，投入資源と需要の補完的関係，③企業や組織のタイプとその構造や制度，④多様性を生み出し選別する過程，から構成される。特に④知識創造や多様性に重点をおいている。これらを踏まえ，サイエンスが急速に進展している<u>米国の医療・バイオセクター</u>が高い競争力を持つ理由を、このモデルにおける、①～④の４つの点から、２００字以上２５０字以内で説明しなさい。

問２，日本の科学技術・イノベーション基本計画では，IoT，ロボット，AI 等の先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、格差なく，多様なニーズにきめ細やかに対応したモノやサービスを提供する社会を目指している。現在の日本では寿命が延伸し高齢化が急速に進んでおり，医療費や介護など社会コストの増加が大きな問題となっている。この社会的課題を AI，ロボット，IoT 等でどのように解決できるのか，２００字以上２５０字以内で説明しなさい。

# 商学・経営学専攻（共通）
# 第２問

チェスター・バーナード（Chester I. Barnard）の協働体系論に基づいて、以下の三つの問いに答えなさい（解答用紙に問題番号を必ず明記すること）。

問Ⅰ（10点）
バーナードは、組織をどのようなものとして定義しているか。その要点を簡潔に説明しなさい。

問Ⅱ（20点）
バーナードの組織の定義を踏まえた場合、組織が成立するためにはどのような条件が必要となるか。それらの条件が、組織の定義とどのように関係しているかを説明しなさい。

問Ⅲ（20点）
バーナードは、組織を評価する視点として「有効性（effectiveness）」と「能率性（efficiency）」を区別している。それぞれの意味を示した上で、この区別が組織の存続や均衡の維持を考える上でなぜ重要なのかを説明しなさい。

# 経営学専攻

## 専門科目

# 商学・経営学専攻（共通）
# 第１問

問１，労働市場や金融市場などの制度やインフラが特定のセクターの競争力に大きな影響を及ぼす場合には，そのような制度が整備された国に競争力のある特定の産業が立地する。このセクター・イノベーション・システムは，①知識ベースと学習過程，②基礎技術，投入資源と需要の補完的関係，③企業や組織のタイプとその構造や制度，④多様性を生み出し選別する過程，から構成される。特に④知識創造や多様性に重点をおいている。これらを踏まえ，サイエンスが急速に進展している米国の医療・バイオセクターが高い競争力を持つ理由を、このモデルにおける、①～④の４つの点から、２００字以上２５０字以内で説明しなさい。

問２，日本の科学技術・イノベーション基本計画では，IoT，ロボット，AI 等の先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、格差なく，多様なニーズにきめ細やかに対応したモノやサービスを提供する社会を目指している。現在の日本では寿命が延伸し高齢化が急速に進んでおり，医療費や介護など社会コストの増加が大きな問題となっている。この社会的課題を AI, ロボット，IoT 等でどのように解決できるのか，２００字以上２５０字以内で説明しなさい。

# 商学・経営学専攻（共通）

# 第２問

チェスター・バーナード（Chester I. Barnard）の協働体系論に基づいて、以下の三つの問いに答えなさい（解答用紙に問題番号を必ず明記すること）。

問Ⅰ（10点）

バーナードは、組織をどのようなものとして定義しているか。その要点を簡潔に説明しなさい。

問Ⅱ（20点）

バーナードの組織の定義を踏まえた場合、組織が成立するためにはどのような条件が必要となるか。それらの条件が、組織の定義とどのように関係しているかを説明しなさい。

問Ⅲ（20点）

バーナードは、組織を評価する視点として「有効性（effectiveness）」と「能率性（efficiency）」を区別している。それぞれの意味を示した上で、この区別が組織の存続や均衡の維持を考える上でなぜ重要なのかを説明しなさい。

# 会計学専攻

## 専門科目

# 会計学 専 攻

## 第１問

以下の５つの問題から２つ選び，それぞれに対して答えなさい。なお，選択した番号を解答用紙に記入しなさい。選択した問題が３つ以上あった場合には，解答順に上から２つを評価の対象とする。

1. 中期経営計画，利益計画，予算管理について，各々の目的と管理対象の観点から三者の相互関係を論じなさい。
2. 標準原価計算の目的を述べたうえで，差異分析を含む原価管理の観点から，その管理上の重要性について論じなさい。
3. 原価企画（target costing）の基本的な特徴を説明したうえで，標準原価管理との共通点および相違点に着目し，両者の関係性について論じなさい。
4. アメーバ経営（amoeba management）の基本的な特徴を説明したうえで，アメーバ経営のメリットとデメリットを論じなさい。
5. 全部原価計算と部分原価計算の考え方を比較したうえで，それぞれがどのような管理目的や意思決定に適しているかを論じなさい。

# 会計学 専 攻
# 第２問

問題１：有形固定資産にかかる減損会計について以下の設問に答えなさい。
問１：概念フレームワークにおける資産の定義の内容も踏まえつつ、減損会計が許容される理由について説明しなさい。
問２：減損損失の計上はどのような手続きによって行われるか説明しなさい。

問題２：引当金の会計処理に関して以下の設問に答えなさい。
問１：引当金設定の要件を説明しなさい。
問２：評価性引当金と負債性引当金の違い、およびその表示方法について説明しなさい。